

2023年度

吉田学園公務員法科専門学校

公務員学科(1年制)

授業科目 (科目ID)	国語・文章理解A		担当教員 (実務経験)	湊 久恵 有 無 ✓	
対象年次・学期	1年・前期		必修・選択区分	必修	単位数 4単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	30	時間数 60時間
授業目的	国語および文章理解を中心に、公務員試験に備え、総合力を身につける。				
到達目標	国語や文章理解で培った力を、面接にも応用できる社会人として使える人材の育成を目指す。				
テキスト・ 参考図書等	"絶対"合格シリーズ 文章理解 テキスト編 "絶対"合格シリーズ 文章理解 ドリル編 公務員試験 地方初級・国家一般職テキスト 国語・文章理解				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	評価試験(評価小テスト)、小テスト、その他(授業態度等)を合わせて、総合的に評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	20%			
	提出物	%			
	その他	20%			
履修上の 留意事項	学生の実力や授業形式(オンライン等)で変更の可能性がある。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	授業ガイダンス1	公務員試験用の自己紹介をする。公務員試験における文章理解の意味を知る。		
	2	授業ガイダンス2	テキストやノートの使い方を知る。新聞はどのように読むべきか。		
	3	文章理解 内容把握1	文章理解(内容把握)接続のことばに注目する。漢字エクササイズ、四字熟語。		
	4	文章理解 内容把握2	文章理解(内容把握)強調表現に注目する。漢字エクササイズ、四字熟語。		
	5	作文実践	作文クイックマスター(海保、道警用)5月の試験のために書き方のルールをマスターする。		
	6	文章理解 内容把握3	文章理解(内容把握)条件を表す表現を見つける。漢字エクササイズ、四字熟語。		
	7	文章理解 内容把握4	文章理解(内容把握)副詞の働きを知る。漢字エクササイズ、四字熟語。		
	8	文章理解 内容把握5	文章理解(内容把握)指示語の働きを知る。漢字エクササイズ、四字熟語。		
	9	文章理解 内容把握6	文章理解(内容把握)例示の表現への対処方法を知る。漢字エクササイズ、四字熟語。		
	10	文章理解 内容把握7	文章理解(内容把握)定義づけに線を引く。漢字エクササイズ、四字熟語。		
	11	文章理解 内容把握8	文章理解(内容把握)問題提起型の論の進め方を知る。漢字エクササイズ小テスト、四字熟語。		
	12	文章理解 内容把握9	文章理解(内容把握)まとめの表現を見つける。漢字エクササイズ、四字熟語。		
	13	文章理解 内容把握10	文章理解(内容把握)「のだ」、「のである」の役割を知る。漢字エクササイズ、四字熟語。		
	14	文章理解 内容把握11	文章理解(内容把握)「いわば」を見つけたらラッキーである。漢字エクササイズ、四字熟語。		
	15	文章理解 空間補充1	文章理解(空欄補充)「このように」「こうして」は重要である。漢字エクササイズ、四字熟語。		

履修主題・履修内容	16	文章理解 空間補充2	文章理解(空欄補充) 同義語に注目する。漢字エクササイズ。故事ことわざ。
	17	文章理解 空間補充3	文章理解(空欄補充) 空欄を後ろから指す指示語の扱いを知る。漢字エクササイズ。故事ことわざ。
	18	文章理解 空間補充4	文章理解(空欄補充) 筆者名、題名もヒントになる。漢字エクササイズ。故事ことわざ。
	19	文章理解 整序1	文章理解(整序) 整序はパズルである。漢字エクササイズ小テスト。故事ことわざ。
	20	文章理解 整序2	文章理解(整序) しりとり原則とは何か。故事ことわざ。
	21	文章理解 整序3	文章理解(整序) 内容は後まわしにして考える。故事ことわざ。
	22	文章理解 整序4	文章理解(整序) グループ分け方法を知る。漢字エクササイズ。故事ことわざ。
	23	文章理解 整序5	文章理解(整序) 指示語を手掛かりにする。故事ことわざ。
	24	総合演習1	問題演習(麻生)。故事ことわざ。
	25	総合演習2	問題演習(麻生)。故事ことわざ。
	26	総合演習3	問題演習(麻生)。故事ことわざ。
	27	総合演習4	問題演習(麻生)。故事ことわざ。
	28	過去問演習1	時間を意識して過去問チェックをする。
	29	過去問演習2	時間を意識して過去問チェックをする。
30	過去問演習3	時間を意識して過去問チェックをする。	

2023年度

吉田学園公務員法科専門学校

公務員学科(1年制)

授業科目 (科目ID)	英語A		担当教員 (実務経験)	有 無 ✓		
対象年次・学期	1年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	公務員試験に対応できる実践的な長文読解力、構文把握力、及び語彙力を習得し、根拠を持って正答を導き出せるようになる。					
到達目標	1. 公務員試験問題の選択肢と本文の整合性を確認し、正答の根拠となる英文の意味を理解できるようになる。 2. 公務員試験問題に頻出の語法や構文、そして英文独自の段落構成を理解し、知識と論理で正答にたどり着けるようになる。					
テキスト・ 参考図書等	*絶対合格シリーズ 文章理解 テキスト編 公務員試験 地方初級・国家一般職テキスト 国語・文章理解					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	60%	評価試験(評価小テスト)、小テスト、その他(授業態度等)を合わせて、総合的に評価します。			
	レポート	%				
	小テスト	20%				
	提出物	%				
	その他	20%				
履修上の 留意事項	学生の実力により授業内容が縮小される場合がある。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	英語学習のポイント、品詞	板書を使った説明と問題演習			
	2	基礎英文法(5文型)	板書を使った説明と問題演習			
	3	基礎英文法(時制)	板書を使った説明と問題演習			
	4	基礎英文法(助動詞)	板書を使った説明と問題演習			
	5	基礎英文法(受動態、動名詞)	板書を使った説明と問題演習			
	6	基礎英文法(比較)	板書を使った説明と問題演習			
	7	基礎英文法(関係詞)	板書を使った説明と問題演習			
	8	問題演習(内容一致)	板書を使った説明と問題演習			
	9	問題演習(内容一致)	板書を使った説明と問題演習			
	10	問題演習(内容一致)	板書を使った説明と問題演習			
	11	問題演習(空所補充)	板書を使った説明と問題演習			
	12	問題演習(空所補充)	板書を使った説明と問題演習			
	13	問題演習(空所補充)	板書を使った説明と問題演習			
	14	問題演習(並び替え)	板書を使った説明と問題演習			
15	問題演習(並び替え)	板書を使った説明と問題演習				

2023年度

吉田学園公務員法科専門学校

公務員学科(1年制)

授業科目 (科目ID)	数学A		担当教員			
			(実務経験)	有	無	✓
対象年次・学期	1年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	国家公務員、地方公務員、警察官、消防官等の公務員採用試験に対応できる知識と計算能力の向上を目的とする。					
到達目標	公務員試験で試される分野の中で、将来、公務員として必要とされる数学の基礎学力を養成する。計算能力を高め、図形に関する知識を運用し、方程式、関数などの周辺分野に取り組み、対処できる力を養成する。					
テキスト・参考図書等	"絶対"合格シリーズ 自然科学 テキスト編 "絶対"合格シリーズ 自然科学 問題集編 "絶対"合格シリーズ 自然科学 ドリル編 試験対策演習プリント					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	60%	評価試験(評価小テスト)、小テスト、その他(授業態度等)を合わせて、総合的に評価します。			
	レポート	%				
	小テスト	20%				
	提出物	%				
	その他	20%				
履修上の留意事項	習得しなければならない重要な分野は限られている。積極的に取り組む姿勢が苦手意識を克服する第一歩である。そして、公務員になるという想いが原動力である。まずは目の前にある問題を速く正確に解くことができるように真剣に取り組もう。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	ガイダンス、基礎学力確認、式の計算(展開、因数分解、平方根)	基礎学力試験及び式の計算の復習を行い、定着状況を確認する。			
	2	式の計算(展開、因数分解、平方根)	基礎学力試験をもとに、計算の展開・因数分解の計算の工夫を習得する。			
	3	式の計算(展開、因数分解、平方根)	根号を含む式の計算の工夫を習得する。			
	4	1次関数	一次関数の式及びグラフの基礎的内容について習得する。			
	5	2次方程式・2次不等式	二次方程式・二次不等式の解法について習得する。			
	6	2次方程式・2次不等式	文章題から二次方程式・二次不等式を立式し、解く方法を習得する。			
	7	2次関数	二次関数の頂点の求め方、平行移動の方法を習得する。			
	8	2次関数	二次関数の最大値・最小値の求め方を習得する。			
	9	中間演習	上記単元についてのまとめ演習を行う。			
	10	2次関数	二次関数と二次方程式との関係を理解する。			
	11	2次関数	二次関数の条件を二次方程式・不等式から求める方法を習得する。			
	12	円の方程式、不等式の表す領域	円の方程式、中心や半径の求め方を習得する。円や直線の不等式が表す領域を求め方法を習得する。			
	13	三角比とその活用	三角比の定義、計算方法を習得する。			
	14	三角比とその活用	正弦定理・余弦定理など図形への応用を習得する。			
15	総合演習	上記単元についてのまとめ演習を行う。				

2023年度

吉田学園公務員法科専門学校

公務員学科(1年制)

授業科目 (科目ID)	政治・経済A 22k154		担当教員 (実務経験)	森 淳紀 有 無 ✓	
対象年次・学期	1年・前期		必修・選択区分	必修	単位数 4単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	30	時間数 60時間
授業目的	政治・経済は単純な暗記よりも、理解を伴った記憶の方が、知識が定着します。政治・経済の授業では、単に語句を暗記するのではなく、「仕組み」や「問題点」を理解することを目的とします。				
到達目標	政治・経済は、社会科学系の中では、最も確実な得点源となります。授業目的に基づき、応用力を身につけ、得意科目とすることを目標とします。				
テキスト・参考図書等	"絶対"合格シリーズ 社会科学 テキスト編 "絶対"合格シリーズ 社会科学 問題集編 "絶対"合格シリーズ 社会科学 ドリル編 担当教員作成によるレジュメ及び過去問題集				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	評価試験(評価小テスト)、小テスト、その他(授業態度等)を合わせて、総合的に評価します。		
	レポート	%			
	小テスト	20%			
	提出物	%			
	その他	20%			
履修上の留意事項	講義が速いペースで進むので、予習と復習を忘れないで下さい。また、問題演習時、解けなかった問題は、疑問点を解決して、確実に解けるようにして下さい。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	統治機構 三権分立	国会と内閣の関係、国会・内閣と裁判所の関係、国民と国会・内閣・裁判所の関係(国民による権力のコントロール)		
	2	統治機構 国会	国会、二院制、国会の種類、国会の権限		
	3	統治機構 国会	各議員の権限、国会議員の特権、衆議院の優越		
	4	統治機構 内閣	内閣の構成、内閣の地位、内閣の権限、内閣総理大臣の権限、閣議、内閣総辞職、行政委員会		
	5	統治機構 裁判所	裁判所の役割、裁判所の組織、裁判の種類、司法権の独立、裁判の公開、違憲立法審査権、裁判員制度		
	6	日本国憲法の基本的性格	大日本帝国憲法、日本国憲法、日本国憲法の三大原則		
	7	地方自治	地方自治の本旨、地方公共団体の独立、地方自治の組織、直接請求権、地方自治の問題点		
	8	選挙制度	民主選挙の原則、わが国における選挙権の拡大、さまざまな選挙制度、各選挙制度の特色、日本における現在の選挙制度、公職選挙法 など		
	9	民主主義の発展	社会契約説、人権保障の歴史、国際的人権保障へ、法の支配、歴史的にみる人権の内容の拡大		
	10	各国の政治制度	イギリスの政治制度の特徴、アメリカの政治制度の特徴、フランス・ドイツ・ロシアの政治制度、社会主義国の政治制度		
	11	基本的人権の尊重	精神的自由権、経済的自由権、身体的自由権		
	12	基本的人権の尊重	社会権、参政権、国務請求権		
	13	基本的人権の尊重	外国人の人権、日本国憲法13条(個人の尊厳及び幸福請求権)、法の下での平等・平等権		
	14	国際政治と日本	国際法、政界平和を守る為の方策、国際連盟と国際連合の比較、国際連合の機構、国際連合の専門機関、戦後国際政治、日本を取り巻く課題		
15	政治分野まとめ	問題演習			

履修主題・履修内容	16	経済のしくみ	市場、価格、価格機構グラフ作成、需要曲線と供給曲線のシフトする主な要因
	17	経済のしくみ	価格機構と限界
	18	企業のしくみ	会社の種類、株式会社のしくみ
	19	景気と物価	景気変動、物価インフレーション、物価デフレ
	20	金融と日本銀行の金融政策	金融、信用創造、金融と市場の資金量、金融政策、三大金融政策
	21	財政政策	財政、財政の役割、財政投融资
	22	為替レートと貿易	自由貿易と保護貿易、為替レートと貿易、国際収支、日銀の市場介入
	23	国際政治との関わり	第二次世界大戦後の国際経済体制、スミソニアン体制～キングストン体制、日米の貿易摩擦、地域経済機構、新興経済地域、国際経済会議
	24	国民所得と経済成長	ストックとフロー、国民経済計算、経済成長
	25	現代日本経済の構造と課題	戦後の経済改革、戦後復興期、高度成長期、オイルショック、バブル経済、現代日本経済の課題、産業構造の変化
	26	経済学史	資本主義経済の発展
	27	経済分野まとめ	問題演習
	28	社会保障・情報化	日本の社会保障制度、社会保障の歴史、少子・高齢化問題
	29	労働事情・環境問題・農業問題	労働者の権利、労働情勢、地球環境問題、わが国の環境問題、消費者問題
30	総まとめ	問題演習	

2023年度

吉田学園公務員法科専門学校

公務員学科(1年制)

授業科目 (科目ID)	日本史A 22k155		担当教員 (実務経験)	小林 功典 有 無 ✓		
対象年次・学期	1年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	各時代の歴史的事実とその因果関係を正確に理解し、生きた知識としてしっかりと身につかせ、合わせて現代社会を理解するための指針とすることを目的とする。					
到達目標	授業目的に基づき、講義と問題演習をスピーディーに実施することにより、短期間で本試験に合格できる学力を身につけさせることを目的とする。					
テキスト・参考図書等	"絶対"合格シリーズ 人文科学 テキスト編 "絶対"合格シリーズ 人文科学 問題集編 "絶対"合格シリーズ 人文科学 ドリル編 担当教員作成によるレジュメ及び過去問題集					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	60%	評価試験(評価小テスト)、小テスト、その他(授業態度等)を合わせて、総合的に評価します。			
	レポート	%				
	小テスト	20%				
	提出物	%				
	その他	20%				
履修上の 留意事項	講義が速いペースで進むので、予習と復習を忘れないで下さい。また宿題も適時出題します。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	古代 1.2	講義と問題演習			
	2	古代 3.4	講義と問題演習			
	3	古代 5.6	講義と問題演習			
	4	中世 1.2	講義と問題演習			
	5	中世 3.4	講義と問題演習			
	6	近世 1.2	講義と問題演習			
	7	近世 3.4	講義と問題演習			
	8	近世 5.6	講義と問題演習			
	9	近世 7 近代 1	講義と問題演習			
	10	近代 2.3	講義と問題演習			
	11	近代4.5	講義と問題演習			
	12	近代6.7	講義と問題演習			
	13	現代1.2	講義と問題演習			
	14	文化史 1.2.3.	講義と問題演習			
15	文化史 4.5.6	講義と問題演習				

2023年度

吉田学園公務員法科専門学校

公務員学科(1年制)

授業科目 (科目ID)	世界史A 22k156		担当教員 (実務経験)	軽部 論 有 無 ✓		
対象年次・学期	1年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	短期で世界史の理解と知識の定着を図る。分野別の過去問演習を中心に展開し得点力アップを目指す					
到達目標	模擬試験での正答率40%以上を目指す					
テキスト・ 参考図書等	"絶対"合格シリーズ 人文科学 テキスト編 "絶対"合格シリーズ 人文科学 問題集編 "絶対"合格シリーズ 人文科学 ドリル編					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	60%	評価試験(評価小テスト)、小テスト、その他(授業態度等)を合わせて、総合的に評価します。			
	レポート	%				
	小テスト	20%				
	提出物	%				
	その他	20%				
履修上の 留意事項						
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	四大文明～古代ローマ世界	メソポタミア等の古代文明の相違やギリシア民主化の過程、ローマの帝政への流れを確認する			
	2	中世ヨーロッパ～	中世ヨーロッパにおけるキリスト教との関わりから教皇権の衰退への流れを確認する			
	3	近世ヨーロッパ～	レコンキスタ・大航海時代から各国の絶対王政確立の流れを確認する			
	4	市民革命～	イギリス・アメリカ・フランスの市民革命を確認する			
	5	小テスト・ナポレオン時代	市民革命までの小テストを実施し、その後ナポレオン時代の確認をする			
	6	産業革命～19・20Cのヨーロッパ	産業革命とヨーロッパの帝国主義政策を中心に確認する			
	7	帝国主義から世界大戦～ロシア革命と戦後の国際社会	第一次世界大戦から戦後の国際社会への流れを確認する			
	8	戦間期の欧米諸国～第二次世界大戦	戦間期から第二次世界大戦への流れを確認する			
	9	世界史用語まとめ	古代文明から市民革命までの範囲を中心に用語の確認をする			
	10	世界史用語まとめ	ナポレオン時代から冷戦までの範囲を中心に用語の確認をする			
	11	中国史～	殷代から隋代までを確認する			
	12	中国史～	唐代から明代までを確認する			
	13	中国史～	清の成立から戊戌の変法までを確認する			
	14	中国史～	清の滅亡から現代の中華人民共和国までを確認する			
15	世界史用語まとめ	中国史の用語の確認をする				

2023年度

吉田学園公務員法科専門学校

公務員学科(1年制)

授業科目 (科目ID)	地理A		担当教員 (実務経験)	有 無 ✓		
対象年次・学期	1年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	世界地理や日本地理の基本的な力を養成し、過去問題演習を中心とした実践問題で、理解度と応用力を高めます。					
到達目標	模擬試験での正答率50%以上を目指す。					
テキスト・ 参考図書等	"絶対"合格シリーズ 人文科学 テキスト編 "絶対"合格シリーズ 人文科学 問題集編 "絶対"合格シリーズ 人文科学 ドリル編					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	60%	評価試験(評価小テスト)、小テスト、その他(授業態度等)を合わせて、総合的に評価します。			
	レポート	%				
	小テスト	20%				
	提出物	%				
	その他	20%				
履修上の 留意事項	地理は、「理解」と「できる」の距離が近いため、高い正答率が可能になります。好き嫌いではなく、得点科目として学習してください。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	地理学習のポイント、大陸と州	板書を使った説明と問題演習			
	2	気候	板書を使った説明と問題演習			
	3	地形	板書を使った説明と問題演習			
	4	土壌	板書を使った説明と問題演習			
	5	平野	板書を使った説明と問題演習			
	6	世界の農牧業	板書を使った説明と問題演習			
	7	アジアについて	板書を使った説明と問題演習			
	8	ヨーロッパについて	板書を使った説明と問題演習			
	9	北アメリカ大陸について	板書を使った説明と問題演習			
	10	南アメリカ大陸について	板書を使った説明と問題演習			
	11	アフリカ・オセアニアについて	板書を使った説明と問題演習			
	12	工業・漁業・林業	板書を使った説明と問題演習			
	13	貿易	板書を使った説明と問題演習			
	14	人口	板書を使った説明と問題演習			
15	時差	板書を使った説明と問題演習				

授業科目 (科目ID)	数的知能A 22k158		担当教員 (実務経験)	有 無 <input checked="" type="checkbox"/>	
対象年次・学期	1年・前期		必修・選択区分	必修	単位数 6単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	45	時間数 90時間
授業目的	公務員試験において、難易度及び出題数から、数的知能(数的推理、資料解釈)は得点源とすべき重要科目です。試験に対応した様々な問題を分野ごとにまとめ、基礎から応用まで学習します。				
到達目標	1. 公務員試験レベルの問題に対応するため、各単元の基本解法の習得を目的とします。 2. 模擬試験における数的分野正答率50%以上を目指します。				
テキスト・参考図書等	"絶対"合格シリーズ 数的推理・資料解釈 テキスト編 "絶対"合格シリーズ 数的推理・資料解釈 問題集編 "絶対"合格シリーズ 数的推理・資料解釈 ドリル編				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	評価試験(評価小テスト)、小テスト、その他(授業態度等)を合わせて、総合的に評価します。		
	レポート	%			
	小テスト	20%			
	提出物	%			
	その他	20%			
履修上の留意事項	「解ける」ではなく、「速く解ける」ことを意識してください。 毎授業の始めに、小テスト又は適性試験を実施します。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	科目導入	基礎計算演習		
	2	科目導入	基礎計算演習		
	3	数的推理(論理分野)	濃度		
	4	数的推理(論理分野)	濃度		
	5	数的推理(論理分野)	年齢算		
	6	数的推理(論理分野)	売買損益		
	7	数的推理(論理分野)	平均		
	8	数的推理(論理分野)	一次方程式		
	9	数的推理(論理分野)	連立方程式		
	10	数的推理(論理分野)	不定方程式		
	11	数的推理(図形分野)	三角形と多角形		
	12	数的推理(図形分野)	三角形と多角形		
	13	数的推理(図形分野)	円		
	14	数的推理(図形分野)	円		
15	資料解釈	導入			

履修主題・履修内容	16	資料解釈	実数と構成比
	17	資料解釈	指数と構成比
	18	数の推理(論理分野)	旅人算
	19	数の推理(論理分野)	旅人算
	20	数の推理(論理分野)	通過算
	21	数の推理(論理分野)	通過算
	22	数の推理(論理分野)	流水算
	23	数の推理(論理分野)	流水算
	24	数の推理(論理分野)	時計算
	25	数の推理(論理分野)	その他の速さ問題
	26	数の推理(論理分野)	不等式
	27	数の推理(論理分野)	ニュートン算
	28	数の推理(論理分野)	仕事算
	29	数の推理(論理分野)	仕事算
	30	数の推理(図形分野)	面積(三角形)
	31	数の推理(図形分野)	面積(三角形)
	32	数の推理(図形分野)	面積(円・扇形)
	33	数の推理(図形分野)	面積(円・扇形)
	34	数の推理(図形分野)	面積(その他)
	35	数の推理(図形分野)	面積(その他)
	36	資料解釈	増減率
	37	資料解釈	その他の資料
	38	数の推理(論理分野)	比と割合
	39	数の推理(論理分野)	記数法
	40	数の推理(論理分野)	約数・倍数
	41	数の推理(論理分野)	整数
	42	数の推理(論理分野)	魔法陣
	43	数の推理(論理分野)	覆面算・虫食い算
	44	数の推理(論理分野)	数列・規則
	45	数の推理(論理分野)	その他の数量問題

授業科目 (科目ID)	数的知能B 22k159		担当教員 (実務経験)	有 無 <input checked="" type="checkbox"/>	
対象年次・学期	1年・前期		必修・選択区分	必修	単位数 4単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	30	時間数 60時間
授業目的	試験に対応した様々な問題を分野ごとにまとめ、基礎から応用まで学習します。 また、過去問題等の実践的な問題演習を行います。				
到達目標	模擬試験における数的分野正答率60%以上を目指します。				
テキスト・ 参考図書等	"絶対"合格シリーズ 数的推理・資料解釈 テキスト編 "絶対"合格シリーズ 数的推理・資料解釈 問題集編 "絶対"合格シリーズ 数的推理・資料解釈 ドリル編				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	評価試験(評価小テスト)、小テスト、その他(授業態度等)を合わせて、総合的に評価します。		
	レポート	%			
	小テスト	20%			
	提出物	%			
その他	20%				
履修上の 留意事項	「解ける」ではなく、「速く解ける」ことを意識してください。 毎授業の始めに、小テスト又は適性試験を実施します。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	数的推理(図形分野)	立体(体積・表面積・展開図)		
	2	数的推理(図形分野)	立体(体積・表面積・展開図)		
	3	数的推理(図形分野)	立体(体積・表面積・展開図)		
	4	数的推理(図形分野)	立体(切断・回転体・その他)		
	5	数的推理(図形分野)	立体(切断・回転体・その他)		
	6	数的推理(論理分野)	場合の数(数え上げと順列)		
	7	数的推理(論理分野)	場合の数(数え上げと順列)		
	8	数的推理(論理分野)	場合の数(順列と組み合わせ)		
	9	数的推理(論理分野)	場合の数(順列と組み合わせ)		
	10	数的推理(論理分野)	確率(順列と組み合わせ)		
	11	数的推理(論理分野)	確率(順列と組み合わせ)		
	12	数的推理(論理分野)	確率(排反・独立)		
	13	数的推理(論理分野)	確率(排反・独立)		
	14	数的推理(論理分野)	確率(反復試行・条件付確率・期待値)		
15	数的推理(論理分野)	確率(反復試行・条件付確率・期待値)			

履修主題・履修内容	16	数の推理(論理分野)	総合演習
	17	数の推理(論理分野)	総合演習
	18	数の推理(論理分野)	総合演習
	19	数の推理(論理分野)	総合演習
	20	数の推理(論理分野)	総合演習
	21	数の推理(図形分野)	総合演習
	22	数の推理(図形分野)	総合演習
	23	数の推理(図形分野)	総合演習
	24	数の推理(図形分野)	総合演習
	25	数の推理(図形分野)	総合演習
	26	問題演習	実践演習
	27	問題演習	実践演習
	28	問題演習	実践演習
	29	問題演習	実践演習
	30	問題演習	実践演習